

**製品名: インテグリン  $\beta$ 4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87451**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:202 kDa; Observed MW:202 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Integrin beta 4
別名	CD104; AA407042; C230078O20
遺伝子 ID	192897
SwissProt ID	A2A863
免疫原	マウスインテグリン $\beta$ 4 の組み換えタンパク質

**背景**

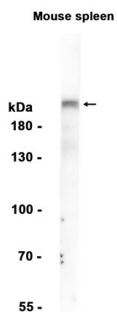
インテグリンは、 $\alpha$ サブユニットと  $\beta$ サブユニットからなるヘテロ二量体であり、非共有結合的に会合した膜貫通型糖タンパク質受容

体です。αポリペプチドとβポリペプチドの様々な組み合わせが、リガンド結合特異性が異なる複合体を形成します。インテグリンは細胞間接着または細胞間接着を媒介し、遺伝子発現と細胞増殖を制御するシグナルを伝達します。この遺伝子は、ラミニンの受容体であるインテグリンβ4サブユニットをコードしています。このサブユニットはα6サブユニットと会合する傾向があり、浸潤癌の生物学的に極めて重要な役割を果たすと考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



インテグリン ベータ 4 ウサギ モノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、マウスの脾臓組織抽出物のウエスタン ブロット分析を行いました。